

光が丘地区の公共施設再編に向けた

市民検討会

第1回「目標を共有しよう」

令和4年10月8日

光が丘公民館 大会議室

感染拡大防止へのご協力

- マスクの着用の徹底



- 会場内に用意している消毒液によるこまめな消毒



- ご発言の際にマスクを外さないでください。
- 参加後、3日以内に新型コロナウイルスの陽性となられた場合には、速やかに市にお知らせください。

本日のプログラム

本日のプログラム

第1回「目標を共有しよう」

14 : 00 ~ 14 : 40 あいさつ、本日のプログラム
参加者の自己紹介
これまでの取組
市民検討会について

14 : 40 ~ 15 : 50 **グループワーク**

15 : 50 ~ 16 : 00 休 憩

16 : 00 ~ 16 : 20 **発 表**

16 : 20 ~ 16 : 30 講評・事務連絡

あいさつ、自己紹介

自己紹介

1. 所属とお名前

2. 最近のマイブーム



目標 一人 **20秒** 以内

市からの説明

- ・ 相模原市の公共施設マネジメントの取組
- ・ 光が丘地区公共施設再整備に向けたこれまでの取組

公共施設のあり方の見直し

- 「施設の老朽化」や「人口減少・少子高齢化」「社会・環境の変化」など、公共施設を取り巻く環境は時代とともに大きく変化しています。

施設の老朽化

- 昭和40～50年代の人口急増期に多くの公共施設を整備
- これらの施設の老朽化が進み、今後、改修や建替え（更新）に多額の費用が必要

人口減少 ・ 少子高齢化

- 人口減少や少子高齢化が進行（2015年 2065年）
- 相模原市の人口は、約72万人 約54万人
- 高齢化率は、24% 41%

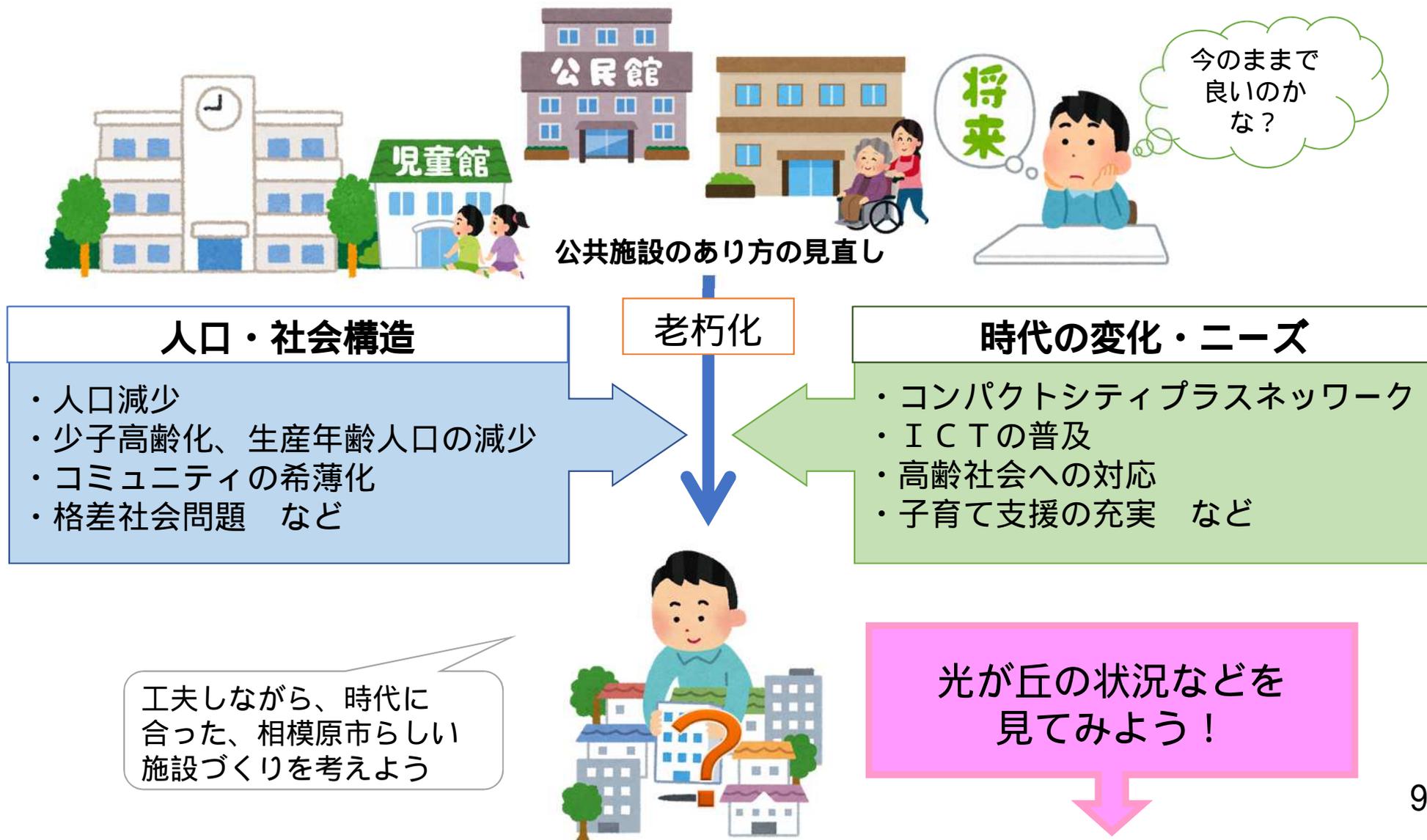
社会・環境 の変化

- 今後想定される大規模災害への備え
- 個人の趣味や活動の多様化など、求められる役割の変化
- 技術革新によるサービスのあり方の変化

公共施設を取り巻く環境は
時代とともに大きく変化

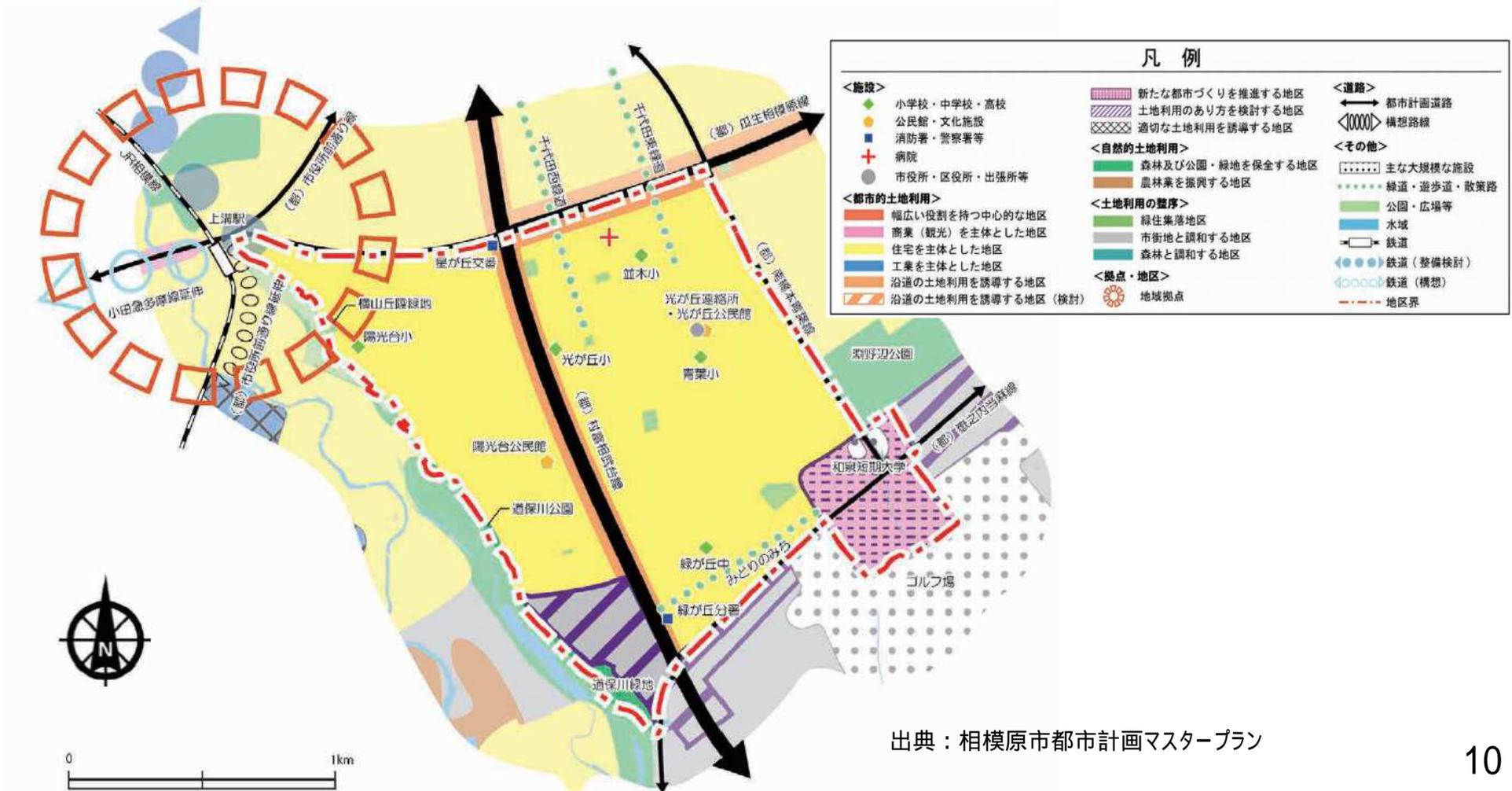
次世代に引き継ぐための公共施設のあり方

- 相模原市では、公共施設の老朽化や施設を取り巻く環境の変化を踏まえ、公共施設マネジメントの取組を進めるための方針や計画を作成し、相模原市らしい施設づくりを考えています。



光が丘地区の特性

- 昭和40年代から急速に市街化が進み、住宅中心の街並みが形成され、県道相武台相模原沿いでは、沿道サービス型の土地利用が進んでいます。
- 人口の増加とともに、住民相互の交流も進み、地域団体が協働して活発な活動が展開されており、「ふるさとまつり」などのイベントも盛大に開催されています。



光が丘地区の人口推計

- 光が丘地区の人口は、今後一貫して減少する見込みです。
- 年少人口は、今後一貫して減少するなど少子化が進行しています。
- 高齢化率は、既に31%を超えており、2043年には40%となる見込みです。

2020年

26,679人

2020と比べて

約17%

減少見込み

2040年

22,088人

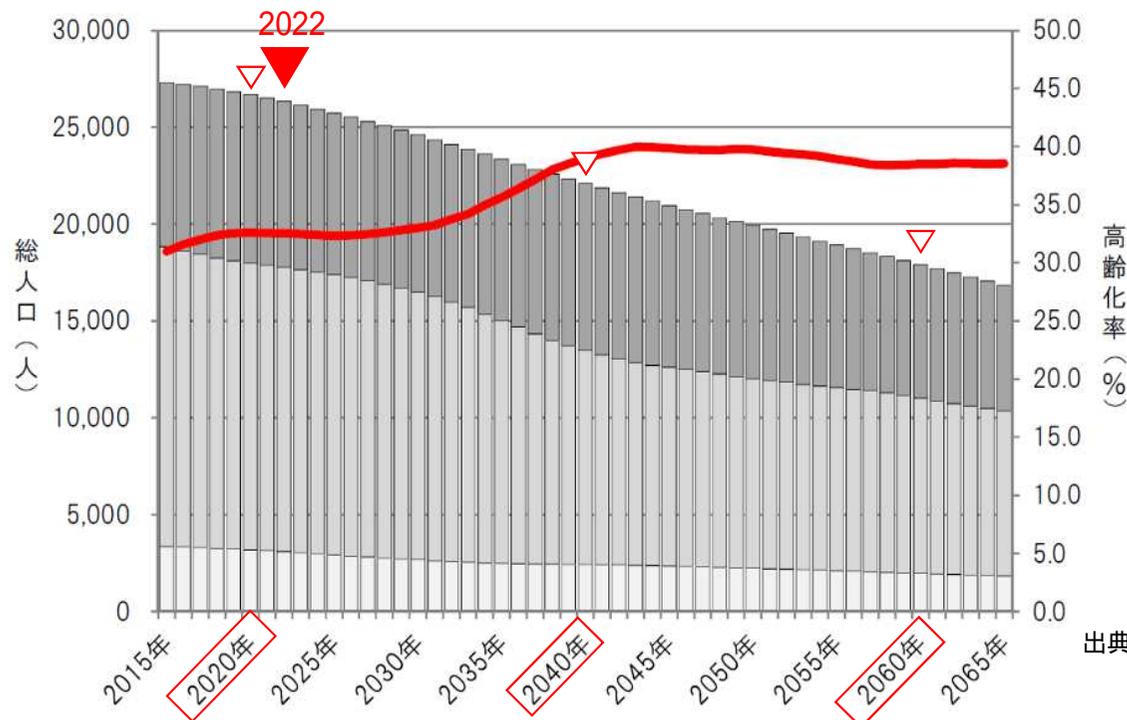
2020と比べて

約33%

減少見込み

2060年

17,911人



出典：2015年国勢調査に基づく
相模原市の将来人口推計

光が丘地区の公共施設配置図

療育センター陽光園 築48年
 建設年度 S49 - H5
 延床面積 3,290㎡
 現地建替えは、敷地規模や周辺状況から、課題が多い。



陽光台保育園 築48年
 建設年度 S49
 延床面積 718㎡
 現地建替えは、敷地規模や周辺状況から、課題が多い



陽光台小学校 築47年
 建設年度 S50-S51
 延床面積 6,409㎡
 学習環境のあり方検討対象



光が丘小学校 築53年
 建設年度 S44-H2
 延床面積 7,876㎡
 学習環境のあり方検討対象



併設：光が丘児童クラブ

光が丘児童館 築51年
 建設年度 S46
 延床面積 196㎡



青葉小学校 築45年
 建設年度 S52-S53
 延床面積 5,718㎡
 学習環境のあり方検討対象



併設：青葉小学校放課後子ども教室・青葉児童クラブ

並木小学校 築48年
 建設年度 S49-S50
 延床面積 7,002㎡
 学習環境のあり方検討対象



光が丘公民館 築38年
 建設年度 S59
 延床面積 1,004㎡
 長寿命化改修検討対象



青葉児童館 築48年
 建設年度 S50
 延床面積 253㎡
 行財政構造改革プランの見直し対象



建設年度：令和4年4月1日時点
 建設年度は、棟ごとに表しています。
 (古い棟・新しい棟)
 市営住宅、消防団詰所は除いています。

● 認可保育園、認定こども園

光が丘地区の公共施設の状況や取組の方向性



光が丘・陽光台・並木・青葉小学校

小・中学校の児童生徒数の減少に伴う学習環境のあり方の検討を行い、市教育委員会において、令和7年4月を目途に、青葉小学校を閉校し、光が丘小学校、陽光台小学校、並木小学校に再編するという対応方針が定められたところです。

閉校後の
学校跡施設
の有効活用



療育センター陽光園、陽光台保育園など子どもに関する公共施設の多くが築40年以上を経過しており、建て替えなどを検討する時期を迎えています。

学校再編の取組状況を踏まえながら、将来を見据えた検討を始めていきます

【取組の方向性】

今後、閉校することになる青葉小学校の学校跡施設は、

「避難所としても使える、子どもや地域の活動の場」

を基本とした利活用を検討していきます。

【市の方針】

「療育センター陽光園」「陽光台保育園」で利活用します。

一体的な活用

【地域とともに考えていくこと】

地域課題や周辺公共施設の状況を踏まえ、「地域にとって必要なサービス・機能」での利活用を検討します。

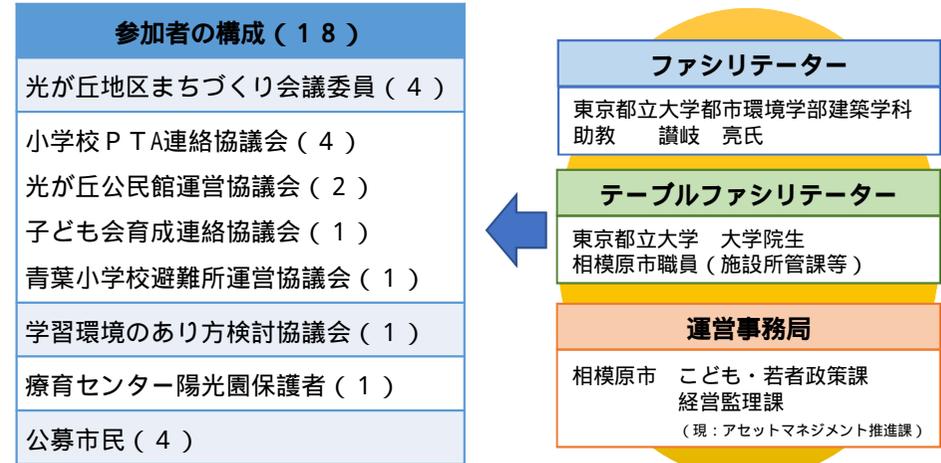
市民対話ワークショップの概要（R3.11～R4.3）

- 今後の青葉小学校の利活用の構想につながる、再編コンセプト、具体的な活用方策、アイデアなどを検討していただきました。

ワークショップの体制図

- 今回のワークショップは、地域団体や関連団体からの推薦のほか、施設利用者、一般公募など、様々な立場や世代の方に参加してもらいました。

東京都立大学のご協力をいただきながら、運営しました。



ワークショップのスケジュール・内容

- 全4回を開催し、参加者をA～Cの3グループに分け、グループワークを行いました。



開催日	実施内容
第1回 (11月27日)	学校での思い出や、地域の魅力・課題の共有 学校での思い出や地域活動を共有して、地域の魅力や課題を考えよう！
第2回 (12月19日)	跡地活用のイメージ 施設を見て、既存ストックを使ってやりたいことなどを考えよう！
第3回 (1月15日)	再編コンセプトや跡地活用の具体化 やりたいことなどをカタチにして、再編コンセプトを考えよう！
第4回 (3月21日)	再編案のまとめ 実現に向けて、自分事としてアイデアなどを考えて再編案をまとめよう！

青葉小学校の校舎や校庭

スライドムービー



施設名称	青葉小学校	
所在地	相模原市中央区並木4-8-4	
交通	(バス停) 千代田、上溝保育園前	
敷地面積	16,680㎡	
土地保有状況	市保有	
用途地域	第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域 用途制限は、第二種住居専用地域と跨っていますが、敷地の過半を占める第一種低層住居専用地域の基準が適用されます。	
建物の構成	建築年度	昭和52～53年度
	延床面積	5,718㎡
	階数	地上2階建て
	構造/耐震化	RC造/不要
災害機能	避難場所(地震)、避難所	



施設名・コンセプト

光が丘ランドマーク

地域の主要拠点 ~子供から大人までが集まれる場所に~



市民対話ワークショップ成果

Aグループ

空間利用のアイデア

- ・地域の中心として公民館と一体化利用
- ・ふれあいゾーン(誰でも自由に使える場所)
- ・共有スペース(災害時は避難場所に)

くすの木周辺を広場に
ランチルームやテラスで食事をしたり、
キッチンカーを入れる

体育館横や校舎内トイレ
災害時に簡易トイレとしても使用出来るよ
うに洋式に変更する

防災倉庫の増設
移動可能なコンテナ倉庫を用意し、防災用
品の増量に備える

校庭の具体案
緊急時に防災公園となるように、かまどベン
チの設置や地面の凹凸を解消する

くすの木のライトアップ等
保育園園児の成長を感じながら、春夏秋冬
に応じた飾り付けやイベントを行う

家庭科室
通常は料理教室やカフェの調理場等に利用
し、緊急時は避難所の炊事場となる

思い出の教室・学習支援教室
卒業制作等を展示したり、学習支援ができ
る諸室を設置する

校庭
防災面での利用に加え、公園のようにみな
なが集まれるフリースペースに！

校庭の具体案
桜を残してお花見をしたりキャンプ場や運
動場として利用したい

実現に向けたアイデア

自分たちができること

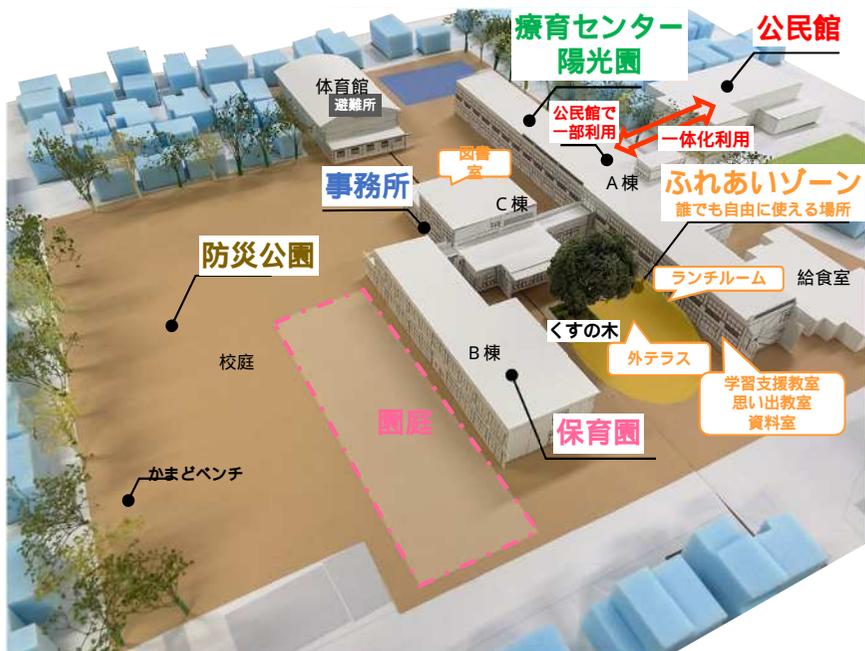
- * 手作り出来るものは自分達で作成する。
例えばかまどベンチの材料には、相模
原市の森林の間伐材や廃材を使用して
コストを抑える。
- * 地域の皆が防災公園の掃除や見守りを行
う。

お金をどうするか

- * 最初は行政(公的補助金)で賄う。
その後は、学校施設の再活用を大きく
宣伝し、クラウドファンディングで資
金を募集する。
民間企業の協賛金も検討する。

運営をどうするか

- * 事務所に受付窓口を設けて、駐在してもら
う地域ボランティアを募る。
- * ふれあいゾーンは、事業者(パン屋など)に運
営してもらう。
(例) 松ヶ丘園、OHANA BAKE
- * 学習支援教室は、社会福祉協議会や地域の
中高生、大学生が運営する。
- * 陽光園と保育園の専用スペースをはっきり
させるために、壁の色を分ける。(共有か専用
かが分かりやすいと一般の方も利用しやすい。)



目指す未来像

- ・地域の皆さんが笑顔になれる場所、憩いの場
- ・久しぶりに会う人と会話ができる場
- ・多世代交流の場「スクランブルスペース」

「光が丘スクエア」「青葉くすの木ホーム」



Kusunoki



空間利用のアイデア

- 屋上に太陽光パネルの設置
- 体育館とプールの一体化
- 校庭の多目的利用

体育館で運動・コンサート
使用したい人のために貸し出し、可動するイスや防音ネットを設置して、コンサートやダンス等ができるようにする。

校庭の避難所利用
イベント用・災害時電源盤を設置する災害時にも利用できるフリーWi-Fiを設置

誰でも利用できる子ども食堂・学習支援・地域活動・居場所
B棟1Fにランチルーム

広い校庭の活用
防音工事をしてコンサート会場に
休日にはキッチンカー
住民専用のゴルフの打ち放し場

プール
体育館とプールを一体化し、1Fをプールに
2Fを体育館に。プール撤去するなら地下に貯水槽を

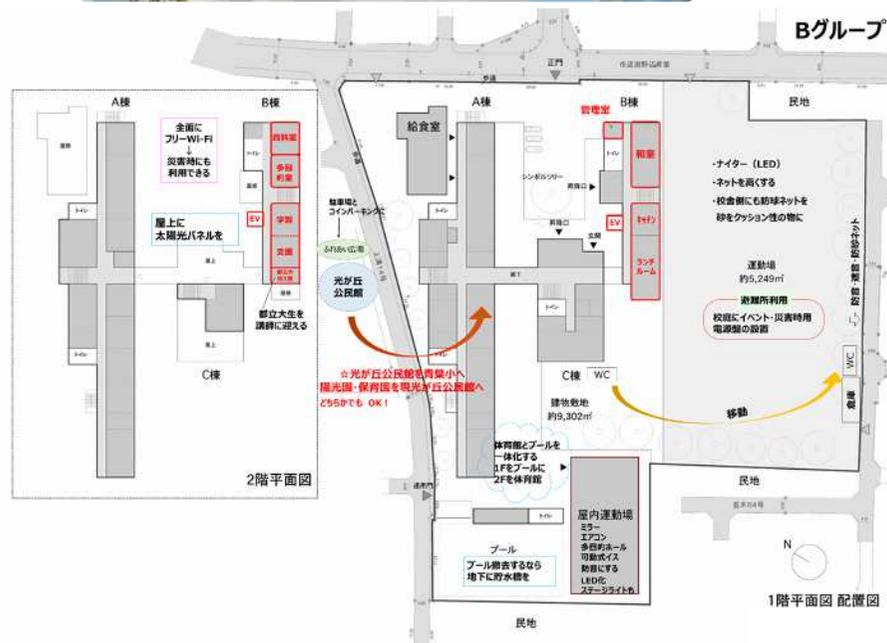
公民館の土地を陽光園で利用 小学校の土地を公民館、地域への利用

実現に向けたアイデア

運営をどうするか
* 学習支援ルームでは、近隣の大学生にリモート参加してもらうなど運営方法を工夫する。
* 体育館とプールの一体化利用については、民間のダンススクールやスポーツジムに活用してもらう。

お金をどうするか
* 校庭にキッチンカーを設けて、地域の飲食店がランチルームと連携したり、フリマなどの地域のイベントを開催して、賑わいを生む。
運営費や追加投資に充てる。

参加者が欠席だったため、テーブルファシリテーターである大学生と市職員が、Bグループの思いを汲みながらワークしました。



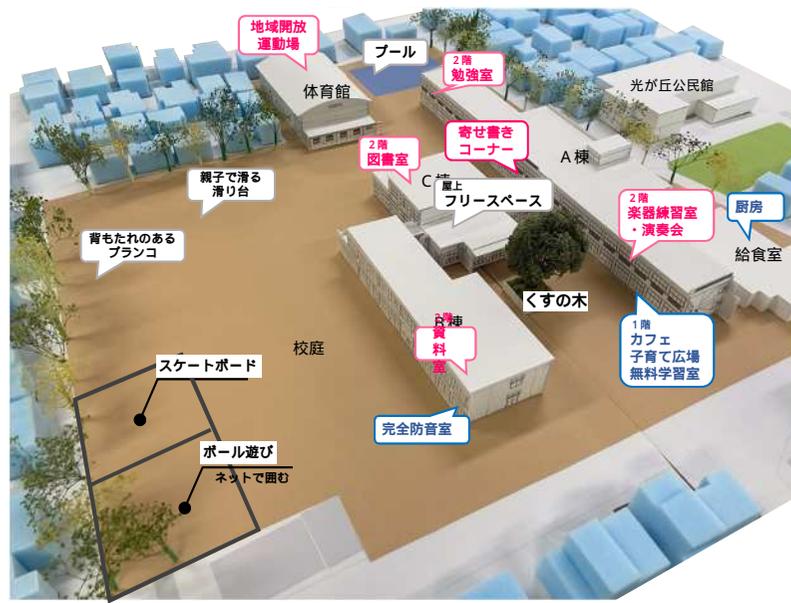
話し合いで意識したこと

- ONE TEAM 楽しく! つながる!
- 自由度を持ってつながる

💡 施設名・コンセプト

光が丘ランド

—ブライズレス—



Cグループ

💡 空間利用のアイデア

- ・公民館とかぶらない機能
- ・ボール遊び広場
- ・完全防音室
- ・無料学習室、子育て広場/時間別利用

ボール遊びができる運動場&スケートボード場
運動場に20m×20mの予約制の練習場を設置

みんなが遊べる公園
背もたれのあるブランコ・親子で滑る滑り台など、障がい児が遊ぶことのできる遊具のある公園
障がい児と健全児が交流できる公園

無料学習室
学生の来られる夕方に中学生～大学生が交わって勉強できる場所

給食室の厨房利用
交流の場や子ども食堂として自由に使える厨房が欲しい

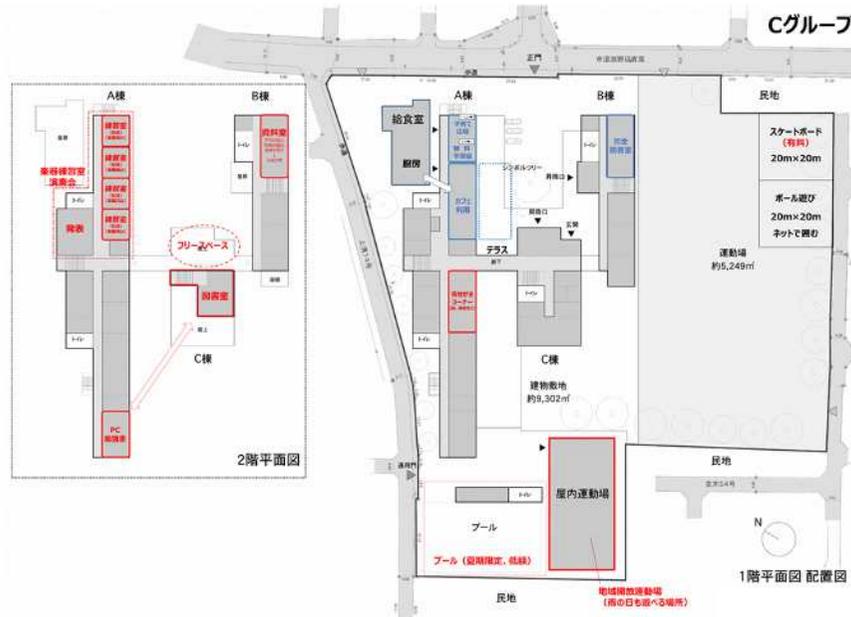
子育て広場
午前中の人の少ない時間に読み聞かせや交流ができる場所

完全防音室
吹奏楽や和太鼓、民謡、尺八、打楽器の練習が自由に行える

体育館
パーティションで分けて雨の日に子どもたちが遊べるスペース

寄せ書き
玄関、オープンスペースなど来た人みんなが見られる壁に絵を描く

資料室
学校の雰囲気を残して教室に資料を展示、様々な世代での交流に



💡 実現に向けたアイデア

自分たちができること
* パン作りや実験・プログラミング教室などのフリーの学び舎を市民で運営する。

運営をどうするか
* 子どもまちづくり会議の中学生に防音室、学習室、発表室、音楽室などの運営を任せる。
* 施設管理は市で行い、今後の運営管理は地域で行う。施設の補修などを市に担ってもらう。
* 運営の仕方を地域の各団体とよく相談をする。

お金をどうするか
* 妥当な使用料を設定し、学生は安くする。夕方までは子どもが無料で、夜は社会人に有料でお金をとるなど時間制で利用したい。
* 小さな催し物で入場料をいただき、運営資金に充てる。
* 地域でカフェをやりたい人に委託し、有料で運営する。寄せ書きコーナーもカフェと一緒に管理。
* 個人や地域運営委員会が図書館で本の販売や講演会を行う。

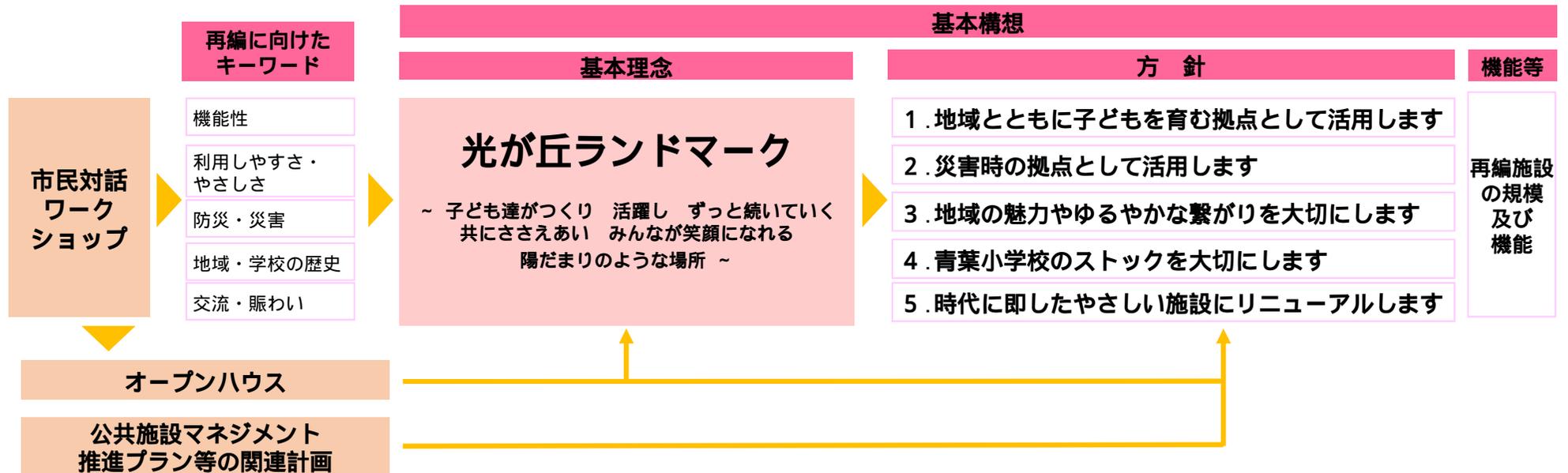
💡 目指す未来像

- ・主役は子どもたち、子どもたちが作り活躍でき、ずっと続いていく場所づくり
- ・お年寄りの拠り所となり、障がい者も健全者も受け入れられる施設

光が丘地区学校跡施設（青葉小学校）利活用基本構想 (R4.8)

➤市民対話ワークショップの成果等を踏まえ、本事業の実現に向けた基本構想として、基本理念と方針などをまとめました。

基本理念 及び 方針（視点）



再編施設の機能及び規模

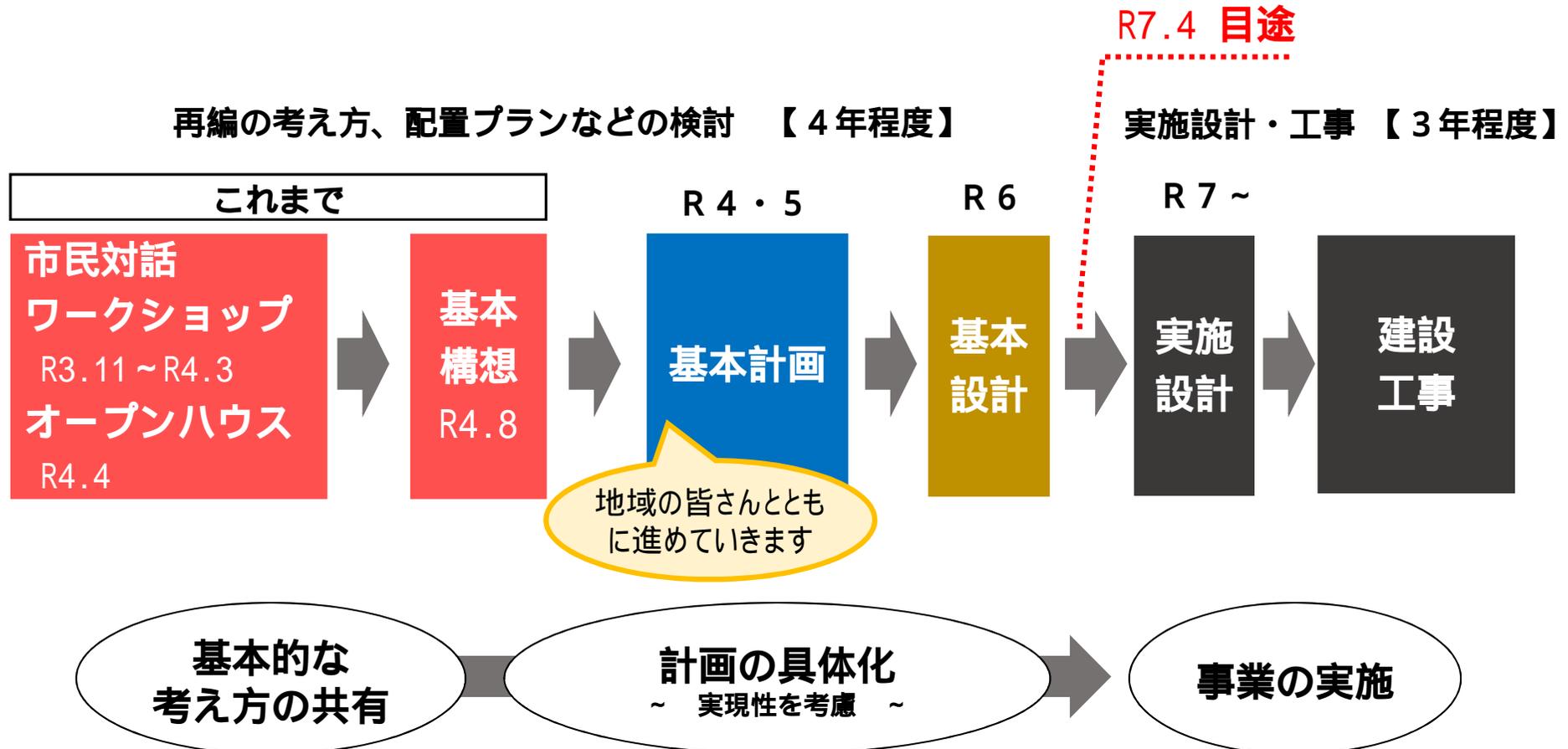
療育センター陽光園の機能	「相模原市立療育センター再整備基本計画」に基づき、必要な機能を検討します。
陽光台保育園の機能	従来の保育園機能に加え、医療的ケア児等の受け入れ機能の追加を検討します。
防災機能	災害時の一時避難場所、避難所等としての機能を検討します。
市民活動機能	市民対話ワークショップの成果を踏まえて、地域に必要な機能や、隣接する光が丘公民館との一体的な取組（繋がり・複合化など）を検討します。

➤ 現療育センター陽光園及び現陽光台保育園の規模で想定した場合、諸室面積は約3,500㎡となり、青葉小学校の約65%を利用することになります。今後、施設機能の精査を行い、各機能の諸室面積を定めます。

再編後に発生する未利用資産は、公共施設の保全・利活用基本指針に則り、売却、貸付などによる財源確保を図り、施設の改修費などの原資としても活用します。

全体のロードマップ

- これまでは、令和3年度市民対話ワークショップなどの成果を踏まえ、基本理念や方針などを掲げた基本構想を策定しました。
- 令和4年度以降は、基本計画の策定に向けた検討を行うなど、実行性を考慮しながら、計画の具体化や実施内容の精査を行い、施設の利活用がスムーズに行えるように事業を実施します。



今後の検討状況等により、スケジュールは変更となる場合があります。

市民検討会の目的と構成、 スケジュール

市民検討会の目的・構成

市民検討会の目的

- 令和4年8月に策定した「光が丘地区学校跡施設（青葉小学校）利活用基本構想」を踏まえ、基本計画を策定します。
- 基本計画の策定に当たっては、有識者、地域団体推薦者、公募市民等で構成する市民検討会を設置し、様々な方のご意見を伺いながら検討していきます。

市民検討会の進め方

- 様々なアイデアや意見を出していただくため、主に『ワークショップ形式』で行います。
- ファシリテーターは、市民検討会の構成委員でもある東京都立大学の讃岐助教にお願いし、東京都立大学の学生スタッフや市職員が運営をサポートしながら進めていきます。

○市民検討会委員の構成

有識者（1名）	東京都立大学助教 讃岐 亮氏 兼ファシリテーター
関係団体からの推薦者（18名）	<ul style="list-style-type: none">・光が丘地区まちづくり会議委員（4）・PTA連絡協議会（4）・光が丘公民館運営協議会（2）・青葉小学校避難所運営協議会（1）・学習環境のあり方検討協議会（2）・療育センター陽光園職員（1）・陽光台保育園職員（2）・児童館運営協議会（2）
公募市民（2名）	公募市民



市民検討会全体のスケジュール

令和4年度

第1回
(10/8)

【テーマ】
目標を共有しよう！

第2回
(11/13)

【テーマ】
テーマごとに考えよう！

第3回
(1月中旬)

【テーマ】
テーマごとに考えて、
成果をまとめよう！

第4回
(2月下旬)

【テーマ】
市民検討会の成果
をまとめよう！

こどもワークショップ
(12月中旬)

各回のワーク内容のイメージ

これまでの取組や市民検討会の目的を共有する

テーマごとに分かれて、地域に必要な機能を考える

こどもワークショップへの情報提供

第2回までの成果などを踏まえ、テーマごとに考えをまとめる

テーマごとの成果を共有して、磨きをかける

ワークショップの心得

- お互いに出した意見を尊重しましょう。
(批判・中傷はNG)
- 何を言ってもOK。自由に、積極的に参加しましょう。
(自分に対しても批判せず、楽しんでください)
- 質より量。内容を気にせず、できるだけ多くの意見を出してください。
- ワークショップを楽しみましょう！
(出てきた意見を組み合わせ、さらに発展させましょう)

サインペンを使って大きな文字で書こう！



グループワーク

～ 利活用のイメージを共有しよう～



グループワーク ～ 利活用のイメージを共有しよう～

ワーク時間の目安
65分

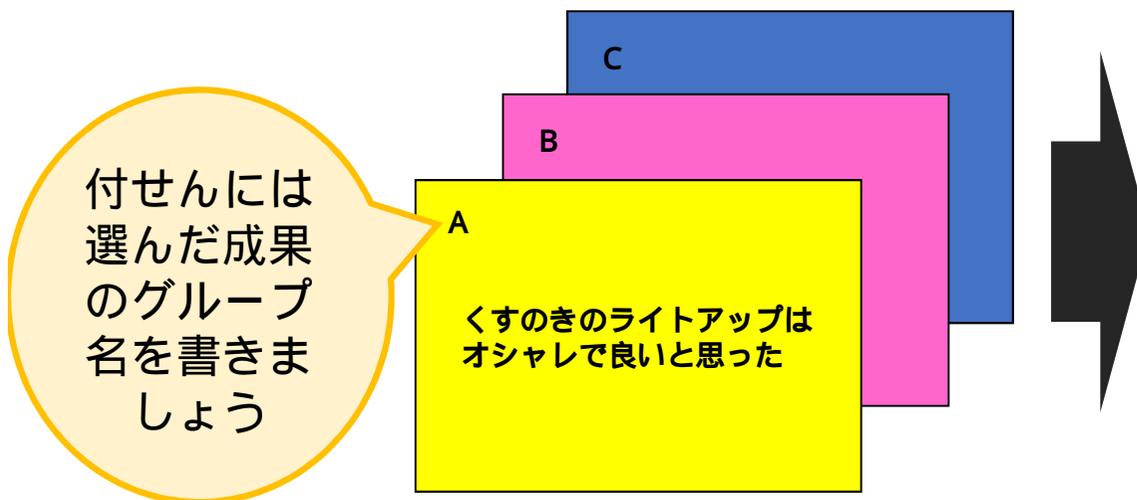
昨年度の市民対話ワークショップの成果などを振り返って、各グループの『良い・共感できるところ（付せん：黄色）』『もっとよくできるところ（付せん：ピンク色）』『気になるところ（付せん：青色）』などを自由に付せんに記入しましょう！

グループで付せんに共有しながら、テーマ（場所など）ごとに模造紙に整理してみましょう！

話し合った結果を発表しましょう。

あらかじめ発表者を決めておく

付せんを使います



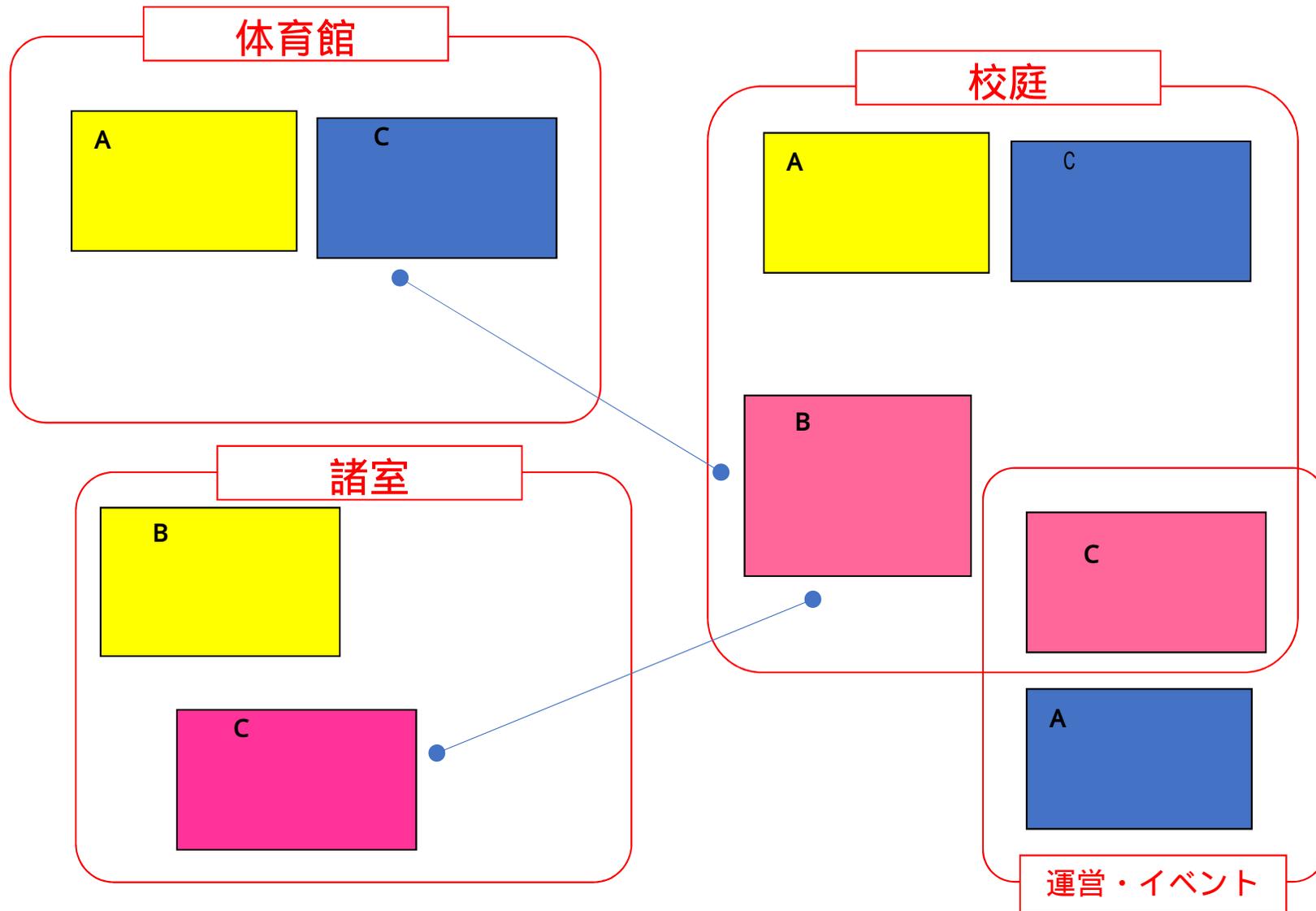
例) テーマ（場所など）



模造紙の使い方イメージ（例）

市民活動機能のイメージの共有と膨らませよう！

1班



次回（第2回）市民検討会のお知らせ

開催日：令和4年11月13日（日）

時間：午後2時00分から午後4時30分まで

場所：青葉小学校の体育館

第2回テーマ

テーマごとに考えよう！

テーマ（例：校舎、体育館、校庭）ごとに分かれて、必要な機能を考える

開催1週間前までに、開催通知を送付しますので、通知内容をご確認下さい。
スリッパまたは室内履きをご持参ください。

駐車場は、光が丘公民館の駐車場を利用してください。

アンケートを忘れずにご記入いただき、入口で名札とともに提出してください